

SLyDIF_I でらくらくスライド作成

monaqa

2019 年 8 月 3 日

はじめに

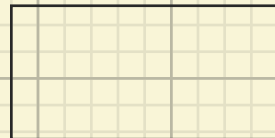
SLyDIF_I: SATySF_I のスライド作成用パッケージ

- ◆ **SATySF_I** (<https://github.com/gfngfn/SATySF_I>)
 - ▶ 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
 - ▶ 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
 - ▶ パッケージをカスタマイズする際の構文は OCaml 風
- ◆ **SLyDIF_I** (<https://github.com/monaqa/slydifi>)
 - ▶ SATySF_I でスライドを作成することができる
 - ▶ 実は既に先駆者がいる ([Steamer: Slide Presentation in SATySF_I](#))
 - Steamer とは page break 周りの実装を少しばかり変えている

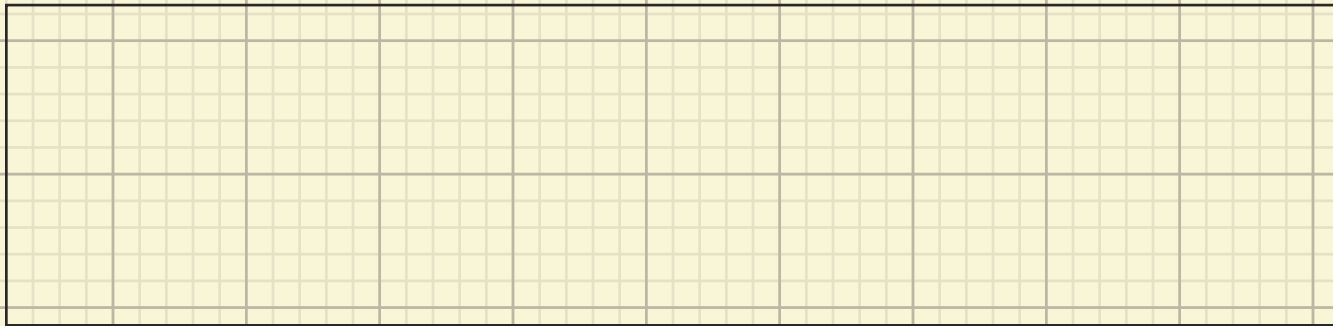
画像はりテスト



いろんな画像が貼れる．JPEG と PDF に対応している他，
DummyBox を用いてダミー画像を貼ることも出来る．



- ◆ `\insert-image`: 本文中に画像を貼る．
- ◆ `\fig-abs-pos`: 絶対座標を指定して画像を貼る．
- ◆ `\fig-right`: コマンド挿入箇所の右端に画像を貼る．



機能一覧

Listing command

箇条書きコマンド.

- ◆ 箇条書きコマンドは以下の 2 種類が用意されている.
 - ▶ `listing`: unordered listing (番号のない箇条書き)
 - ▶ `enumerate`: ordered listing (番号のある箇条書き)
 - Ordered listing の場合, ネストの深さによってインデックスの体裁が変化していく.
 - 子の箇条書きを追加しても, 親の番号はリセットされない.
- ◆ 箇条書きのラベルは, `SLyDIFl` 用にカスタマイズされている.
- ◆ さらなるカスタマイズも, `enumitem` パッケージを用いれば難しくない.

Enumerate command

箇条書きコマンド.

1. 箇条書きコマンドは以下の 2 種類が用意されている.

i. `listing`: unordered listing (番号のない箇条書き)

ii. `enumerate`: ordered listing (番号のある箇条書き)

(a) Ordered listing の場合, ネストの深さによってインデックスの体裁が変化していく.

(b) 子の箇条書きを追加しても, 親の番号はリセットされない.

2. 現にこのような場合でも, 番号は保存されている.

i. もちろん, 子の番号は親が変わればリセットされる.